

平成 29 事業年度一般会計  
高齢者医療制度円滑導入勘定

財 産 目 録  
貸 借 対 照 表  
損 益 計 算 書  
キャッシュ・フロー計算書

平成 29 事業年度一般会計  
高齢者医療制度円滑導入勘定財産目録

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
流 動 資 産		千円	千円
現金及び預金			1,817,194
	普通預金	1,817,194	1,817,194
資 産 合 計			1,817,194
負 債 の 部			
		千円	千円
流 動 負 債			1,817,194
未 払 金			1,817,194
	未 払 金	4,817	
	その他の未払金	1,812,377	
負 債 合 計			1,817,194
差 引 正 味 財 産			—

平成 29 事業年度一般会計  
高齢者医療制度円滑導入勘定貸借対照表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部			負 債 の 部		
区 分	注記 番号	金 額	区 分	注記 番号	金 額
(資産の部)		千円	(負債の部)		千円
流動資産			流動負債		
現金及び預金		1,817,194	未払金		1,817,194
流動資産合計		1,817,194	流動負債合計		1,817,194
資産合計		1,817,194	負債合計		1,817,194

平成 29 事業年度一般会計  
高齢者医療制度円滑導入勘定損益計算書

(自 平成 29 年 4 月 1 日)  
(至 平成 30 年 3 月 31 日)

区 分	注記 番号	金 額	金 額
		千円	千円
〔経常損益の部〕			
( 業 務 損 益 の 部 )			
I 業 務 収 益			
高齢者医療制度円滑運営 臨時特例交付金収入		11,118,567	11,118,567
II 業 務 費 用			
1 指定公費負担医療費支出		9,209,880	
2 給 与 手 当		54,033	
3 交付金精算返納金		1,812,377	
4 その他の業務費用		42,276	11,118,567
業 務 利 益			—
当 期 純 利 益			—

平成 29 事業年度一般会計  
高齢者医療制度円滑導入勘定キャッシュ・フロー計算書

(自 平成 29 年 4 月 1 日)  
(至 平成 30 年 3 月 31 日)

区 分	注記 番号	金 額
		千円
<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金収入		11,118,567
指定公費負担医療費支出		△ 9,209,880
人件費の支出		△ 65,368
その他の業務支出		△ 743,445
業務活動によるキャッシュ・フロー		1,099,873
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資活動によるキャッシュ・フロー		—
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
財務活動によるキャッシュ・フロー		—
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		—
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>		1,099,873
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>		717,321
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	※1	1,817,194

## 重要な会計方針

期 別 項 目	当会計期間 (自 平成 29 年 4 月 1 日) (至 平成 30 年 3 月 31 日)
1. キャッシュ・フロー計算書 における資金の範囲  2. その他財務諸表作成のため の重要な事項 消費税等の会計処理	手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない短期的な投資からなっております。  消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

## 注記事項

(キャッシュ・フロー計算書関係)

当会計期間末 (平成30年3月31日現在)	
※1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係	
現金及び預金	1,817,194 千円
現金及び現金同等物	1,817,194